

まち未来だより

2017 March 3月 発行
宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場の跡地利用に関する取組みについてお伝えします。

ねたてのまちベースミーティング^(※)主催「NBMまちづくり分科会」を開催しました!

(詳細は中面参照)

※ねたてのまちベースミーティング (略称:NBM)

周辺市街地のまちづくりを含めた普天間飛行場の跡地利用を市民目線で考える事を目的に、定例会での意見交換や対外的な取組み・活動を行っている団体です。

分科会開催にあたって (将来に繋がるまちづくりに向けての取組み)

普天間飛行場返還後のまちづくりには、跡地とその周辺市街地を含む整備が必要となることから、夢のあるまちづくりに向けた市民のみなさまのお考えやご意見がとても重要です。

沖縄県と宜野湾市は跡地利用計画策定に向け取り組んでおりますが、NBMは県市の取組みを踏まえながら、市民のみなさまから普天間飛行場返還後のまちづくりにつながる声を集めています。その取組みの一環として今年2月に「NBMまちづくり分科会」を開催しました。

また、分科会開催に先立ち、「全体計画の中間取りまとめ」を基礎とした事前研修 (中面参照) を実施しました。
(中間取りまとめにおける配置方針図は、下図をご参照ください。)



市民目線の取組み実施中



沖縄県と宜野湾市は共同で普天間飛行場跡地のまちづくりの検討を進めており、平成25年3月に普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ」を策定しました。未来の普天間飛行場のまちづくりに向けては、これからも地権者、市民、県民の皆さんの意見を聞きながら更に進化させていきます。

振興拠点ゾーン

産業 医療・生命科学 環境・エネルギー リゾートコンベンション

機能 国際協力・貢献 研究開発、広域防災など

沖縄の自立的発展につながる

都市拠点ゾーン

商業 ショッピングモール ホテル・駅

利用 行政・教育・文化 医療・福祉など

人が集う、快適で魅力的な都市をつくる

住居ゾーン

風情生活 「旧集落」の空間再生

多様なライフスタイルなど

沖縄の気候風土に合った風情と生活環境を造る

先進地視察で普天間飛行場跡地のまちづくりに向けて情報・知識を広げます!

「ねたてのまちベースミーティング」は、まちづくりの先進情報の収集・蓄積と、跡地利用に関する議論の深化などを目的として、先進地視察を実施しました。今年度は、「防災のまちづくり」と「エリアマネジメントによるまちの魅力づくり」の2つをテーマとして、宮城県石巻市と宮城県仙台市を訪れました。

【実施日】 平成28年11月24日(木)~26日(土)
【視察テーマ及び視察先】 ◆防災のまちづくり (宮城県石巻市)
◆エリアマネジメントによるまちの魅力づくり (宮城県仙台市)



石巻市の復興現場のようす



仙台市内のまちあるきのようす



勉強会のようす

◆防災のまちづくり

東日本大震災により甚大な被害を受けた石巻市の震災復興地区を訪ねました。

そこでは、巨大な防潮堤だけではなく、道路を高く盛って津波の第2防潮堤代わりにしたり、海岸沿いの漁業集落を高台へ住宅を集団移転させるなど、防災のまちづくりならではの具体的な取組みを視察する事ができました。

また、震災前後における地域住民の防災意識の変化やまちづくりに対する考え方の変化等について、色々話を伺う事ができました。

◆エリアマネジメントによるまちの魅力づくり

産官学民の協働・連携を図り、持続的なまちづくりを推進することを目的として設立された、「仙台駅東エリアマネジメント協議会」を訪ね、まちの価値を高めていくための取組みについて学びました。

元々の協議会発足の経緯や現在の組織構成、継続した取組みを続けていく事によって徐々に信頼を得る事の重要性や広い歩道区間を使ったイベントの開催など、これまでの様々な取組み内容について話を伺う事ができました。

普天間飛行場跡地利用に関するプロモーションビデオが公開されています。

平成28年3月に沖縄県と宜野湾市が共同で普天間飛行場の跡地利用計画の検討状況をイメージ出来るプロモーションビデオを作成しました。跡地利用を実現した将来のまちのイメージを映像で視聴出来ます。

※普天間飛行場跡地未来予想図から閲覧することが可能です。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.pref.okinawa.jp/futenma-mirai/>

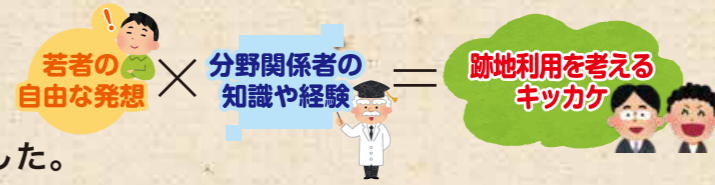


【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 098-893-4401 (直通) FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口 (宜野湾市基地政策部まち未来課) でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。

NBMまちづくり分科会の概要について



ねたてのまちベースミーティングとは…



分科会では、「市民と普天間飛行場跡地利用との関係性」や、「参加しやすい取り組み方法」をテーマに意見交換を行いました。そして、観光、農業 / 自然、歴史、景観、福祉の視点から提案をまとめました！

事前研修



分野関係者からアドバイスを受ける。(事前研修会)



提案発表(事前研修会)

「NBMまちづくり分科会」では5つの分野(観光、自然 / 農業、歴史、景観、福祉)に区分し、各分野の知識と経験を持った関係者や、将来のまちづくりを担う大学生にお集まり頂き、返還後のまちづくりに対して意見交換を行い、提案としてまとめていきました。参加者は、事前研修会を2回実施し、本企画に参加する意義や現在の跡地利用計画等を通して理解や知識の習得を図り、本番のグループ提案及び意見交換会に備えました。

大学生が普天間跡地のまちづくりを考えることの意義とは？

学ぶ 新しい視点
備える 10年後を見据えて
繋げる 次世代へ伝える

【1回目】
○開催日時：2月1日(水) 18:30～21:00
○開催場所：宜野湾市役所別館 3階第一会議室

- ① NBM の紹介
- ② 普天間飛行場跡地利用計画に係る取り組み状況の説明
- ③ 座談会
(大学生が普天間飛行場跡地のまちづくりを考えることの意義)

【2回目】
○開催日時：2月11日(土) 13:00～15:00
○開催場所：宜野湾市役所別館 3階第一会議室

- ① NBM の紹介
- ② 普天間飛行場跡地利用計画に係る取り組み状況の説明
- ③ 分野代表学生から素案発表
- ④ 分野毎で意見交換

NBMまちづくり分科会

平成 29 年 2 月 25 日(土)
13:00～17:00
宜野湾市社会福祉センター
参加者 / 23 人



準備



これまでの取り組みの意見揭示



提案発表



NBM の紹介

オープニング



普天間飛行場跡地利用について



分野別取り組み提案



終了



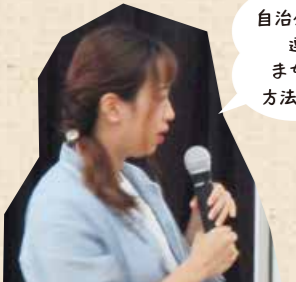
分科会の成果発表・質疑応答



まちづくり分科会



ディスカッションのようす



大学生と自治会とNBMで連携したまちまーいの方法について…



県外出身の私としては、宜野湾市の景観が素晴らしいと思っている。



フェンス沿いウォーキングについては、歩け歩け運動をしている団体と連携を取ることも考えているの？

各分野からの提案内容

観光分野

「じーん体験型まちまーい」

まちあるきや体験を通して、市民が自ら自発的に宜野湾市の魅力を発見する学習型アクティビティ(活動)

今後のイメージ

大山の家具通り巡りや大謝名の食グルメツアー、大山の農家体験などイベントの開催を目指す。

跡地利用に向けて

跡地返還までの間に自治会ごとで交流するポテンシャル(可能性)を高めていき、地域の結束力強化に繋げる。

歴史

「桃原亀郎の生涯を劇にする」

戦後、宜野湾市のリーダーとして活躍した桃原亀郎氏の功績や人間味などを題材とした劇を実施し、地元の歴史への関心をうながす。

今後のイメージ

宜野湾市内の小中学校の学芸会で演目として取り上げて頂き、次世代への歴史の継承・関心を目指す。

跡地利用に向けて

地元の歴史に関心を向け、地域への愛着を増して跡地利用を考えることに繋げていく。

福祉

「世代間ウォーキング&フォトメッセージコンテスト」

基地フェンス沿いをガイド付きでウォーキングしながら好きな風景写真を撮り記録に残す。

今後のイメージ

異なる地域間でのゆるやかなコミュニティ形成のため、「地元を自分たちで考える」市民の増加、返還後は「昔はここに基地があった」というような事を思い出すウォーキングを目指す。

跡地利用に向けて

「跡地利用を考える」ことのハードルを下げ、地域や世代の異なる人々との関係性が生まれ、更に地元への愛着が湧き、跡地利用の話が出来るような雰囲気づくりに繋げていく。

農業自然

「科学館の設置」

「科学教育を通して跡地利用を考える」「ターム畑を作る」などの農業体験を学生主体で実施する。

今後のイメージ

市民が参加しやすい科学教室の定期開催を行い、大人も子ども楽しみながら科学に対する関心を高めていくことを目指す。

跡地利用に向けて

科学に対する関心を高め、跡地利用の中のひとつとして「科学館の設置」を考え、県民だけでなく観光客にとっても学びの場になるように繋げていく。

景観

「景観マップの作成」

現状の自然景観についてフィールドワークを通して学び座談会で検討を行いマップ作成を行う。

今後のイメージ

自然景観のマップを作成し、歴史と自然の関わりを考えるキッカケとなる事を目指す。

跡地利用に向けて

跡地利用を考える際の、歴史と自然、住宅景観のイメージ作りに繋げていく。



ディスカッションのようす



質疑応答のようす

参加者の感想

- ・普天間飛行場の跡地利用について各分野から案が沢山聞けて視野が広がった。
- ・企画を考えることで、普天間飛行場の跡地利用について自然と考える事ができた。
- ・現在の宜野湾市の仮題等を普天間飛行場の跡地利用で解消する事が出来ればよいと思う。
- ・多様な分野から宜野湾を知れたので大変勉強になった。また是非参加したい。
- ・出た提案をブラッシュアップして実現されるのであれば、とても素晴らしい企画だったと思う。NBMの方や他分野の方の話の聞けただけでも満足できた。
- ・提案した学生として、今回の取り組みに参加して、普段なら触れない知識を知り、アウトプットのため膨大なインプットができて大変視野が広がった。
- ・今回参加したことで、基地の跡地利用の状況を知る事が出来た。大学で学んでいる事が社会にフィードバックできることを学べたのも良かった。

NBMのまとめ

様々な世代や職業の方々との跡地利用を考えるきっかけについて話し、提案を頂いたことは大変よかったです。今後は、ご提案頂いた企画について内容を詰め、実施方法など検討を進めていきたいと思っております。「NBMまちづくり分科会」へご参加して頂きました皆様、誠にありがとうございました。